

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

質問者	発言者	発言内容
1 一矢	<p>一矢慶子</p> <p>副市長</p> <p>一矢慶子</p> <p>副市長</p>	<p>s o r a かさい、鶉野飛行場跡戦争遺跡について、目的、理念をお聞かせください。</p> <p>s o r a かさいは、加西市地域活性化拠点施設として、今年の4月18日オープンしました。7月末現在で約4万5千人弱の方に来ていただいている。また、s o r a かさいと周辺のフィルムミュージアム、戦争遺跡群のほうに100校近い学校が平和学習のために来られる予定です。このように平和学習の拠点として、全国から学びの場として注目されており、今後も「学びの場」として事業運営を実施します。</p> <p>目的としましては、加西市の歴史、文化などの地域資源を活用して、多くの人に平和の大切さを学ぶ機会を創出し、交流と地域活性化を促進することです。補足的にですが、飛行場跡周辺に残る滑走路、防空壕、機銃座などの戦争遺跡の基本的な整備・活用方針につきましては、地元団体のみなさん方や有識者、戦史研究家等より構成する、加西市地域活性化拠点施設検討委員会において、基本的な活用方針を定めています。「鶉野で起こった史実を正しく耕世に伝えていくこと」とし、「平和について学び、考える場」として、整備や活用を進めていくことが基本方針しています。</p> <p>先ほどの答弁で、平和学習が基本的な理念とお伺いしました。平和学習という目的と言いながら、今回、市道のために貴重な防空壕が取り壊されることになりました。柔軟な対応が必要であることは理解しますが、平和学習の場として活用するのであれば、行政の都合で振り回されないような長期的な視点に基づく活用が必要と考えます。現在、鶉野未来課が所管していますが、平和学習の視点と、貴重な遺跡の保護という視点から考えますと、行政からの独立機関である教育委員会が所管するべきと考えますが、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>通称 L 字形防空壕と言っておりますが、その取り壊しについてご質問の中で触れられましたので、L 字形防空壕を含め、戦争遺跡の保存等についても答弁させていただきます。</p> <p>私自身も鶉野飛行場の保存については、できる限り現物を保存していくことが大事だと考えております。また、市としてもこれが第一義であると認識しております。ただ、報道でもありましたが国道372号の法華口交差点が恒常的に渋滞を引き起こしているという問題は、地元の住民の方を中心に、市民生活にとって喫緊の課題です。その解決のためにも市道鶉野飛行場線の整備必要不可欠です。計画段階では、防空壕を避けるルートも含めまして、3つのルートを検討いたしました。早期完成に向け住民の皆さんのご理解、ご協力をいただき、費用面も勘案し、現行ルートでの整備を平成28年度に決定しました。その後も地域</p>

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

		<p>や議会とも議論を重ね、予算及び市道認定についても全会一致で承認されております。</p> <p>現物保存が困難な中、資料保存ということをしつかりしていく必要があります、3次元レーザー測量という方法を使い、神戸大学のご協力を得ながら詳細な調査を行ない、今後、デジタルデータを活用して、主に立体CG画像として記録保存していきたく考えております。いずれにしましても、現物保存、資料保存あわせて後世にしつかりと語り継ぐ地域遺産として活用していきます。</p> <p>その上で、s o r aかさいの運営及びフィールドミュージアムの整備・運営の所管については、市長部局である鶉野未来課で担当をしております。戦争遺跡については、我々としましては、鶉野で起こった史実、歴史を正しく後世に伝えていくことを目的にしています。教材等の作成については教育委員会と鶉野未来課が連携して作成することが必要ですし、また、計画もしております。本年度は、学習教材や教職員の研修資料等に活用できる冊子、コンテンツなどを整備する予定にしておりまして、作成に当たっては、教育委員会と連携し、小中学校の先生方からも歴史的な視点等を踏まえた教材となるよう助言をいただきながら進める予定です。この点は教育長も教育委員会としてもしつかり取り組んでいきたいと言われておりますので、市長部局と教育委員会とが一体となって取り組んでいきます。</p>
一矢慶子		<p>先ほどのご答弁では、協力してということでしたので、今後も所管については鶉野未来課が所管し、教育委員会が協力するという認識でよろしいでしょうか。</p>
副市長		<p>今のところ、その認識で結構です。ただ、時間の経過とともに所管部局の変更を行う可能性は否定できません。</p>
一矢慶子		<p>今後はご検討いただくということですが、平和学習というものは世界的にもいろいろな考え方がぶれることもあります。教育委員会が、行政と独立した立場であるので、しつかりと平和学習をしつかりぶれなく伝える意味で、所管を教育委員会で定める方がいいと思いますので、ご検討いただければと思います。</p>
副市長		<p>続きますして3番目の質問をさせていただきます。s o r aかさいを中心とした今後の加西市の発展についてお聞かせください。</p> <p>s o r aかさいの運営は、指定管理者制度により民間企業が運営をしております。施設としては、平和ミュージアム機能をはじめ、貸しスペースにより交流機能を持たせています。さらに、飲食物販スペースにより、活性化機能を併設する形になっています。s o r aかさいは7月末現在で約4万5千人の方に来ていただいておりますが、夏休みの状況も鑑み、年間12万人以上の来場者を見込んでいます。市外からお越しになられる方が多く、繰り返し加西市を訪れていただけ</p>

女性議会議事録 (令和4年8月11日開催)

	一矢慶子	<p>るように、s o r aかさいファンパスポートというラインアプリを活用したりピーター向けサービスの情報を発信しています。こういったことを活用しながら誘客に努めています。同時に周辺市町も含め飲食店によるネットワークというものも形成し、s o r aかさいに来られた方に、オリジナルメニューやクーポンの発行も行い、s o r aかさいや鶉野フィールドミュージアムに訪れた方に市内での食事や、市内の他の観光施設を巡っていただけるような取り組みを進めています。</p> <p>ファンパスポートは今年度始めたばかりですが、このようなデジタル技術も活用しながら、s o r aかさいを市内観光の玄関口と位置付け、市内循環の仕組み、リピーターの獲得といったことに繋げていきます。また、鶉野飛行場周辺において、道の駅の可能性を調査する基本構想を策定しております。その基本構想に基づき本年度は実施のための基本計画策定、そしてPPPとかPFIと呼ばれる民間連携事業の手法の可能性調査といったものを進めています。基本構想では、道の駅で地場産品の販売、レストランだけでなく、デジタルトランスフォーメーション(DX)、脱炭素(ゼロカーボン)といった将来必須となるファクターを軸にした、スマート農業や地場産品の開発などを進めることを想定しております。</p> <p>ご丁寧なご答弁ありがとうございます。今後は鶉野の鶉野飛行場跡は加西市にとっては大切な財産とっております。平和学習のために大切に保存しながら有効に活用していただき、またいろんな意味でここを拠点として観光だけではなく、産業ビルという目的もお聞きしましたが、ここでいろんな会社に入っただき、子どもたちが加西市で、いったん外に出ても、世界で活躍できるような子たちが、また加西市に戻ってきても、グローバルに働けるような拠点になるようなことを、担当の方からもお聞きしておりますので、この平和ということをお子たちに伝えていただき、貴重な財産を守り、そしてこの加西市が世界にも誇れるような街になるように、しっかりとこの拠点を活用して、これから進めていただきたいと思います。以上です。</p>
--	------	---